



例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 田中 正躬
- 会報委員長 黒木 正人



「おなじ星を見ていた - ギアリングスの架かる虹」より
港の空 内田 新哉

高山 3 R C 合同ガバナー公式訪問例会

9 月 21 日 (金) 12:30~ 高山グリーンホテル

<プログラム>

司会進行	高山西 R C 幹事	田中 正躬
点 鐘	高山西 R C 会長	門前 庄次郎
ロータリーソング	奉仕の理想	
ゲストおよび地区委員の紹介	高山西 R C 会長	門前 庄次郎
国際ロータリー第 2630 地区	ガバナー	木村 静之 様
国際ロータリー第 2630 地区	パストガバナー	桑月 心 様
国際ロータリー第 2630 地区	パストガバナー	剣田 廣喜 様
国際ロータリー第 2630 地区	濃飛グループ AG	内田 幸洋 様
国際ロータリー第 2630 地区	代表幹事	間宮 久人 様
国際ロータリー第 2630 地区	青少年育成小委員会委員長	下田 徳彦 様
国際ロータリー第 2630 地区	インタラクティブ委員会副委員長	塚本 直人 様
国際ロータリー第 2630 地区	財務・ロータリー財団監査委員	前越 路子 様
国際ロータリー第 2630 地区	危機管理委員会委員	益田 大輔 様
国際ロータリー第 2630 地区	ロータリーの友委員会委員	清水 幸平 様
国際ロータリー第 2630 地区	情報専門委員会委員	北川 由幸 様
国際ロータリー第 2630 地区	会員増強委員会委員	平林 英一 様
国際ロータリー第 2630 地区	ロータリー財団専門補助金委員会	
	グローバル補助金担当委員	大村 貴之 様
国際ロータリー第 2630 地区	ロータリー財団専門補助金委員会	
	職業研修チーム担当委員	長岡 俊輔 様
食 事		
会長の時間	高山西 R C 会長	門前 庄次郎
出席報告	各クラブ出席委員長	
ニコニコボックス	高山西 R C ニコニコ委員長	
歓迎の挨拶	高山中央 R C 会長	高原 清人
ガバナー紹介	内田 幸洋ガバナー補佐	
ガバナー卓話		
謝 辞	高山 R C 会長	若田 一博
点 鐘	高山西 R C 会長	門前 庄次郎
写 真 撮 影	3 R C 合同	

<会長の時間>

お食事中の方は、どうぞそのままお召し上がりください。本日は木村ガバナー様をはじめ、地区の役員様をお迎えし、高山 3 ロータリークラブ合同ガバナー公式訪問例会を開催する事が出来、大変光栄に存じます。色々ご指導をお願い申し上げます。本年度は高山西ロータリークラブがホストでございますので、ここで会長の時間とさせていただきます。



少し古い話ですが、昨年度取られたアンケートについて話をさせていただきます。日本の最初のクラブ「東京ロータリークラブ」が 1920 年に誕生し、そして来たる 2020 年オリンピックの年に 100 周年を迎える事になります。現在 100 周年に向けて、いろいろ準備を進められているとの事ですが、それに先立ち、昨年度 (4 月 19 日 ~ 5 月 31 日) インターネットによる WEB アンケートが取られました。2,264 のクラブに送られ 1393 件の回答 (61.5%) が有ったと言う事です。

その結果を一部見ますと

- 1) クラブの現状と課題については (複数回答あり)
 会員の高齢化 (52.9%) 会員の減少 (52.8%) 会員候補者の不在 (28.5%) 例会出席率の低下 (26.3%) と続きます。
- 2) クラブ運営の課題については
 例会・委員会活動のマンネリ化 (33.7%) ネット対応の不十分さ (31.6%) 会員に対する研修不足 (31.2%) 公共のイメージ・認知度の低さ (28.5%) と続きます。
- 3) 国際ロータリーの戦略計画については
 - ① 戦略計画を知っていますか
 十分に理解している (8%) ある程度理解している (69%) よく知らない (23%)
 - ② 戦略計画・長期計画委員会はありますか
 ある (30%) ない (70%)
 - ③ 戦略計画を明文化していますか
 ある (13%) 検討中 (28%) ない (59%)

となっています。やはり会員増強が急務であり、戦略計画については必要性を感じながらも、一歩踏み出せていない。そんな感じがします。

当クラブももちろんですが、多くのクラブが同じような課題を抱え、同じ様な状況に有る様に感じます。どんな組織も、時間と共に硬直化して行きます。そしてそのマンネリ化を打破するには創意と工夫が必要です。直面する課題にしっかりと向き合い、持続可能で良い変化を生み出すには、そのクラブに有った中長期の計画がやはり必要だと思います。

当クラブは今まで先輩たちに作って頂いた積み重ねを大切にしながらも、少しずつ変えて行く勇気を持って、色んな事にチャレンジして行く事を、今年度の思いとしております。また一つでも二つでもその成果を出せる事を願い活動して行きたいと思っております。

インスピレーションになろう

例会報告

<ニコニコBOX> 高山西RCニコニコボックス委員
国際ロータリー第2630地区 **ガバナー 木村 静之 様**
国際ロータリー第2630地区 **代表幹事 間宮 久人 様**
本日は高山3ロータリー合同ガバナー公式訪問例会に伺いました。
よろしくお願ひいたします
国際ロータリー第2630地区 **濃飛グループAG 内田 幸洋 様**
国際ロータリー第2630地区ガバナー木村様、地区代表幹事間宮様
のご来訪を歓迎申し上げます。ご指導よろしくお願ひ申し上げます。
**高山RC 若田一博 会長、高山西RC 門前 庄次郎 会長、高山中
央RC 高原 清人 会長**
国際ロータリー第2630地区 ガバナー木村静之様、濃飛グループ
ガバナー補佐 内田幸洋様、地区代表幹事 間宮久人様のご来訪を
歓迎いたします。本日はご指導よろしくお願ひいたします。また地
区委員会委員長および委員の皆さま、本日のご出席ありがとうございます。

<歓迎の挨拶>

高山中央RC会長 **高原 清人 様**

皆さんこんにちは、国際ロータリー第2630地区ガバナー 木村静之様、地区代表幹事 間宮久人様、古き良き伝統文化あふれる当地区最北のまち、「飛騨高山」へ、ようこそおいでくださいました。心より歓迎申し上げます。そして、濃飛グループガバナー補佐 内田幸洋様、地区役員の皆様ご臨席を賜り誠にありがとうございます。

今年度バリーラシンRI会長は「インスピレーションになろう」を国際ロータリーのテーマに掲げられ、木村ガバナーは地区活動方針テーマを「理念をかかげ 意欲を喚起し 共に行動」とされ、具体的に5つの地区重点目標を示されました。

ロータリーは時代と共に絶えず進化を遂げ、世界中の地域社会に持続可能な変化を生み出してまいりました。今やロータリーはこの世界の中で、無くてはならない組織の一つとなっております。このことは1905年以来113年間の歴史が証明しているところであります。とは言えこれに甘んずることなく、未来を見据え本質を忘れず、自己研鑽を計り、共に議論し、共に行動し続けることが今求められていると思います。

本日、木村ガバナーのご指導を得られますことを大変うれしく思っております。

木村ガバナーにおかれましては、くれぐれも健康にはご留意され、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

また、本日ご出席の皆様方の益々のご健勝と、第2630地区の発展を祈念いたしまして、意は尽くせませんが歓迎の挨拶とさせていただきます。

<ガバナー紹介>

濃飛グループガバナー補佐

内田 幸洋 様

木村 静之ガバナーについてご紹介いたします。所属クラブは岐阜加納ロータリークラブ。生年月日は、昭和27年10月25日、今度の誕生日を迎えられて66歳になられます。職業は弁護士、東京大学法学部をご卒業されています。

ロータリー歴は、1994年 岐阜加納ロータリークラブ入会、2007年-2008年岐阜加納ロータリークラブ幹事、2012-2013年 岐阜

加納ロータリークラブ会長、2016-2017年 岐阜Bグループガバナー補佐、そして今年度2018-2019年度ガバナーです。
ではご講話どうぞよろしくお願ひいたします。

<ガバナー卓話> **ガバナー 木村 静之 様**



皆さんこんにちは。先ほど点鐘していただきました鐘は、「日本のロータリー100周年」記念の黄金の鐘で、ガバナー公式訪問に持って回っています。

1 今年度RI会長のテーマは“Be The Inspiration” 「インスピレーションになろう」です。バリー・ラシン会長は、パナマのかたです。パナマは、米フロリダ半島とキューバの間、カリブ海に浮かぶ島です。「インスピレーションになろう」とは、「インスパイア」という動詞が「鼓舞する」とか「意欲を喚起する」という意味ですので、ほかの人たちに「インスピレーションを与える」、「意欲を吹き込む」人になろうという意味になります。ラシンさんは、前向きな変化を生み出す意欲を、課題に立ち向かう意欲を、クラブからも、地域社会からも、組織全体からも引き出したいと述べておられます。

2 私のガバナーとしてのテーマ（スローガン）は、「理念をかかげ 意欲を喚起し 共に行動」です。まず、「理念をかかげ」です。近年、世界のロータリーの趨勢、いささか「奉仕活動のロータリー」に偏っていて、理念が薄くなっている、という意見が出ています。

奉仕活動のロータリー 増強、財団、寄付、プロジェクト推進を重視する面

理念のロータリー 職業奉仕、4つのテスト、例会を重視する面

私は、奉仕プロジェクトを活発に行うことは非常に大切なことだと思っています。ただ、世界では新興国の会員が増えてきたということもあって、「奉仕活動のロータリー」に傾いていると言えます。そのためRIは「ロータリーの柔軟性」を認めざるを得ない状況で、2016年の規定審議会において大きな改正がなされ、例会は月2回でもよいとされました。当時のRI会長が「例会を何回開いたかよりも、地域社会にどのような変化をもたらしているかのほうが重要だ」と述べました。サンディエゴの国際協議会での私の体験でも、新興国は先進国のロータリーから援助を引き出すことに熱心です。こうした新興国の会員が増加する一方で、先進国の会員が減少し、「理念」がおろそかになっています。

まず、「奉仕の理念」をしっかりとかがずる。「かがずる」とはロータリーのモットー・四つのテスト・ロータリーの目的（綱領）に表される基本理念をいつも意識して、職業生活・社会生活で実践することです。最近も、日本を代表する企業で「偽装事件」などが発生しています。「産地の偽装」とか「等級の偽装」といった事件



インスピレーションになろう

例会報告

も発生しています。我々ロータリアンの感覚からすれば由々しき問題だと言わざるをえません。



3 そして、大切なのが例会です。例会は、職業人としての倫理を向上させ、理念の浸透を図り、互いに切磋琢磨し学ぶ場であります。例会のプログラムを大切に、例会への出席を大切にしたい。例会のプログラムを企画する側も工夫をして、例会に出席してよかったという気持ちで帰ってもらえるようにしたいものです。

クラブ内での研修態勢を整えることも大切です。クラブの中で「研修リーダー」を選任して、クラブ内での研修全般に配慮してもらおうのがよいと思います。

4 次に、会員基盤の強化が必要です。日本のロータリーは20年前に13万人でしたが、今は9万人です。若い世代にも、社会経験豊富な退職者世代にも、女性会員にも入っていただきたい。今や、女性が職業を持つことも社会的な活動をするのも普通ですので、会員構成もそれに応じて多様になってほしい。世界で女性会員の割合は今20.7%ですが、日本は6.6%です。これを5年以内に15%以上にしたいと提唱されています。

昨年度2630地区の増強の状況は、全体で純増45名ほどです。これは好成績です。皆様のご努力の賜物です。他方、各クラブ平均1人増えれば地区全体で75人増えるはずですが、そこまでできていません。引き続きよろしくお願ひします。増強のためには、クラブを魅力あるものにする事です。そのためには一人一人の会員を大切に、会員が意欲を持って奉仕活動をする事、そういう立派な会員がいることがクラブの魅力になります。

5 次に、意欲の喚起についてです。ラシン会長は、意欲を喚起するには「熱意を持って強く伝える」「自らの行動で範を示す」、ということをおっしゃられています。私は、少し視点を変えて「感動体験を話そう」ということをご提案しています。ロータリーでの感動体験をお互いに話すことです。奉仕活動で感動したこと、職業奉仕の面でも感動したこと、そういう感動体験は自分自身の中でさらなる意欲となりますし、そのような話を聞いた人も意欲が湧いてきます。

6 次に、奉仕活動として何をするかは、各クラブの情報収集と創意工夫です。地域社会で改善すべき点、あるいは世界で必要とされている課題は何か、という観点で取り上げていただきたい。どんなプロジェクトをするかは、地区の奉仕プロジェクト委員会からも情報を得ることができます。「財団の地区補助金」を活用した奉仕プロジェクト、さらには「グローバル補助金」事業にも挑戦していただきたい。

7 グローバル補助金事業として、当地区の中津川クラブと中津川センタークラブが行った「母子の健康」に関する事業をご紹介します。ブラジルのサンパウロ州で乳児死亡率が高い地域があって、地元のレジストロロータリークラブと中津川のクラブが共同して、現地の医療施設に医療機器を提供するとともに、住民を対象に産前ケアのワークショップの推進をしました。この事業はRIの

2016-17年度年次報告に取り上げられました。中津川市がレジストロ市と姉妹都市というご縁だったそうです。

もうひとつグローバル補助金事業をご紹介します。今年度、当地区の多治見リバーサイドクラブ、美濃加茂クラブ、鈴鹿ベイクラブが、タイのシロムロータリークラブと共同して行う「基本的教育と識字率の向上」の分野、タイの「教員の研修」プログラムと80校に教材を寄贈する事業です。これも注目に値します。グローバル補助金事業は、6つの重点分野に該当するという要件や、持続可能性という要件、現地の人たちが活動に加わるといったことも必須です。言語など意思疎通が難しいことがあります。地区の委員会(奉仕プロジェクト委員会、国際奉仕委員会、財団委員会)がサポートしてくれます。

持続可能性 (sustainable) について。ロータリーでは、「持続可能な変化をもたらす」事業をと言われます。単に物を寄贈するだけというのではなく、現地の人も加わって、現地の自助努力でやっていけるように援助する、ということが大切です。「魚を与えるより魚の取り方を教える」ということです。

8 公共イメージと認知度の向上についてお話しします。ロータリーは意外と世間に知られていません。あるいはロータリーという名前が知られていても、どんな活動をしているかは知られていません。活動を知ってもらうことによって、世間から注目され、我々の励みになります。増強にもつながり、奉仕の拡充になります。方法としては「視覚的に」伝えるのが効果的です。奉仕活動の機会に、チラシや横断幕などを利用し、クラブがこれまでやってきた活動を伝えるとともに、「4つのテスト」などの理念も伝え、ロータリーが国際的なネットワークでポリオ撲滅に力を入れていることなども伝えたいものです。

9 “PEOPLE OF ACTION” 「世界を変える行動人」は、RIのキャンペーンです。たとえば、奉仕活動の写真を掲載する場合に「行動」をイメージできる写真にする、など提唱されています。このロゴはマイロータリーからダウンロードできます。

10 ロータリー賞、RI会長特別賞を目指していただきたい。昨年まで「RI会長賞」と言っていました。3つの戦略的優先項目に沿って項目がいくつかありますが、それほどハードルは高くありません。ただ、クラブセントラルから入力するのに多少のコツが必要です。

11 ロータリー財団は、世界では非常に高い評価を受けています。お金の使い道、使い方、透明性、いずれの面でも高い評価を受けています。時々、「財団の補助金は要件が厳しくて使いにくい」という声も聞きますが、それは、財団委員会が、ルーズな使い方にならないよう管理しているからです。財団へのご寄付を引き続きよろしくお願ひします。

12 ポリオ撲滅の問題です。30年前、麻痺を発症する人は、毎年推定35万人でした。それが、99.9%以上減少しています。3年間続けて0になれば撲滅したと言えるのですが、今年になってアフガニスタンとパキスタンで7月までに14件発症が確認されています。残る0.1%のポリオとの闘いが問題で、ワクチン投与を続けなければなりません。困難は、遠隔地であったり、紛争地であることです。ポリオ撲滅が実現すれば、ロータリーの人道奉仕の成果として、歴史に残ります。引き続き寄付のご協力をお願いします。

13 米山奨学会は日本独自の奨学金制度で、当地区では今16名のお世話をしています。学業優秀と国際親善に貢献できるかが選考基準です。世話クラブとカウンセラーの会員さんにはよろしくお願ひします。また、寄付も引き続きお願ひします。

14 環境の持続可能性を守ることを、ラシンさんも強調しています。環境汚染で多くの子供が死亡し、地球規模で何十億人もが深刻な水不足を抱えて暮らしています。地球温暖化は異常気象や海面上昇といった深刻な問題を生じさせます。ロータリーが、先手を打つことのできる組織となれるよう願っています。

インスピレーションになろう

例会報告

15 日本のロータリー100周年について。日本のロータリーは1920年に東京で創設され、2020年に100周年を迎えます。各地区に、記念の金の鐘（ゴング）が贈呈されました。

静岡県にある米山梅吉記念館も創立50年になります。大修繕の必要があることなどで募金を呼びかけています。見学・例会でのご利用もできます。

16 10月13～14日に岐阜市で開催する地区大会に、多数のご登録ありがとうございます。

以上で私の卓話を終わります。ご清聴ありがとうございました。



< 謝辞 >

高山RC会長 若田 一博 様

高山RC会長の若田一博です。高山3ロータリークラブを代表してお礼を申し上げます。

本日は木村ガバナーには2630地区の一番北で行われたガバナー公式訪問によるごそおいで下さいました、そして色々ご指導有難うございました。心から深くお礼申し上げます。

私共高山3ロータリークラブは、それぞれが特徴ある活動をして来ております。「真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか」この四つのテスト（THE FOUR-WEY TEST）を忘れることなく、温故知新、それぞれのクラブの歴史、伝統、地域への思いを受け継ぎ、新たな一歩を踏み出してゆきたいと思っております。今後ともご指導お願いします。

本日のガバナー公式訪問を主催下さいました、高山西ロータリークラブの皆様、地区委員の皆様、そして出席を頂きましたロークリアンの皆様方にお礼申し上げ謝辞といたします。ありがとうございました。



インスピレーションになろう